

第10回東白石ふれあいまつり

東白石地区町内会連合会
総務部長 柳本 稔榮

今年度の「東白石ふれあいまつり」は、「多世代がふれあい、楽しめるおまつり」として、去る11月8日(土)午前10時から12時30分頃まで東白石会館にて開催致しました。

山中会長の開会挨拶の後、本郷太鼓クラブの若さ溢れる和太鼓演奏で幕を開け、東白石小学校合唱団のさわやかな歌声に続き、南国ムードたっぷりのハワイアンダンス、息の合ったオカリナ同好会によるアンサンブル演奏が披露されました。休憩をはさんで後半は、詩吟が朗々と高らかに吟じられた後、カラオケコーナーでは当地域の皆さんが日頃から鍛えたのどを披露され沢山の拍手と歓声が起こるにぎやかさでした。続いては当まつりでは初めてクラシックバレエが披露されました。小学児童ソロによる可愛らしくもキリリとした踊りでした。最後は鮮やかな手さばきの手品で締められました。多彩な演目に、個人や団体・グループを含め40名程の方が熱演されました。

今回も喫茶コーナーを設けましたが、最初から最後までお客様、出演者、スタッフの皆様がコーヒーやお茶、ジュースとお菓子で和気あいあいと談笑されている姿が見られ、これぞ「ふれあいまつり」にふさわしい光景と思いました。

当日はあいにくの悪天候にも拘らず沢山の皆様にご来場頂きありがとうございました。そして、出演して頂いた皆様、スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。



第50回白石区ふるさとまつり開催

東白石地区町内会連合会副会長
津元克比古(あけぼの町内会)

第50回白石区ふるさと祭りが、令和7年6月14日に札幌コンベンションセンターで開催され、好天に恵まれ大勢の区民が参加しました。大ホールでは札幌本陣つぐみ太鼓が行われ、勇壮な太鼓の音が響き渡り、また、白石区各連合町内会女性部の皆さんをはじめとした有志の踊り手により伝統の白石音頭の演舞を華やかに披露しました。また、姉妹都市の登別の伝統芸能「熊舞」が披露されみんなでふるさとまつり50回をお祝いしていました。

中ホールでは子ども遊芽カーニバルが同時に開催され、子ども会のジュニアリーダーが企画するダンスや子どもビンゴなどが行われました。

屋外展示スペースでは、楽しい屋台が大集合してビールやジュースを飲みながら、焼き鳥や食事を楽しんでいました。



登別市熊舞

東白石屋台

東白石町連避難所運営訓練開催

東白石地区町内会連合会
防火防災部長 媚山 一夫

令和7年9月19日午前11時から、東白石町内会連合会の主催で町連役員を中心に、「NPO法人防災しなっけ」さんのご協力のもと「避難所の設営・運営訓練」を50名程の参加者で東白石会館で行われました。

午前10時半に開錠し・施設安全確認の後に、10時45分には受付を開始し、町内会ごとに分かれ1階体育館は主に寝袋・ダンボールベッドの設置と便器の使用法、2階はアルファ化米の炊き出しなどに分かれ全体説明を聞いた後、11時15分から1階・2階に別れて訓練を開始しました。

1階は通路を確保し、寝袋40組を敷いて寝床を作り、その後は簡易便器を置いての使い方を体験、奥の部屋に移りダンボールを組み立てて3台分ベッドを作り体験をしました。

12時10分、1階の体育館で2階の炊き出しの出来たアルファ化米を試食しながら1階・2階の準備の様子をビデオで視聴し、12時45分～12時55分迄訓練全体の感想を述べ合い、12時55分から13時10分に閉会の挨拶の後、参加者へ資料・お土産を配布しました。

南海トラフ地震、北海道沖の日本海溝・千島海溝沿でも100年～150年間隔で巨大地震が起きており、日本では大雨や強風が増加して降水量は平年の3倍以上となりました。

災害は何時やって来るか解らず、再確認して油断を排除しなければなりません。



アルファ化米作成中!

自分のスペースで食べました!